

# れんけい だより

Vol. 76

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌  
共済組合連合会

地域医療支援病院

救命救急センター

周産期母子医療センター

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

がんゲノム医療連携病院

神奈川 DMAT 指定病院

神奈川県災害医療拠点病院

DPC 特定病院群

病院機能評価(3rdGVer.1.1)



## 新年のごあいさつ

### CONTENTS

新年のごあいさつ ..... P 2

地域医療構想 Part8 ..... P 3

診療科部長に聞く ..... P 4

#### NEWS

「喉頭亜全摘出術講習会」に招かれて ..... P 6

#### NEWS

ANA ウィンドサーフィン  
ワールドカップ 横須賀・三浦大会 ..... P 7

#### TOPICS

医療従事者研修会 ..... P 8

三浦半島地域 緩和ケア研修会 ..... P 9

がん教育 ..... P 10

がん診療の取り組み ..... P 11





# 新中央診療棟とDX

(デジタルトランスフォーメーション)

横須賀共済病院  
病院長  
長堀 薫



新年明けましておめでとうございます。連携いただくみなさまには、常日ごろからご協力いただき深く感謝いたしております。さて、長らくご迷惑をおかけしておりました最大のネック、当院の古色蒼然たる外来部門ですが、来年から建て替えます。スクラップアンドビルドの現地立て替えて、工期は6年。いまの外来・中央部門は11の建物からなり、なんと最古は昭和12年です。迷路だと揶揄されるわけです。その上、耐震構造がほぼありません。これを端から順に壊していき、メインとなる中央棟、サプライ棟、エントランス棟に集約します。できあがりのイメージは、こんな感じです。

<現病院>



<完成イメージ>



「よかった。この病院で」  
患者様・職員・地域の方々に  
必要とされる  
病院を実現し、より良い医療  
を提供していきます。

ホントは全部まるっと建て替えられるとよいのですが、いかんせん横須賀に土地がない。今から20年後に病棟の建て替えが必要となるので、ローリングの見通しは立てておき、完成すれば初めてストーリーが完結です。

ここにはテクノロジーを導入し、患者さん、スタッフに心地の良い環境にしたいと考えています。今までは、労働集約産業の最たるものが病院の事業、人を投入するしかないと思われていましたが、デジタル化で効率化して病院を変えるのがDX（デジタルトランスフォーメーション）です。

例として、入院前と麻酔の説明をタブレットで行っています。患者さんはわからなかったことを重点的に聞くことができます。救急対応では、救急隊の現場到着時から患者さんの容態を音声入力でき、リアルタイムに救命センターのパネルに反映するようにしています。

ヒトとテクノロジーが融合した、優しい高機能病院を目指していきます。  
本年もよろしくお願いいたします。

# 地域医療構想

## みうら半島の明日を考える

三浦半島病院会の主催で地域医療構想講演会が開催されました。

講師は慶應義塾大学医学部放射線科学（診断）教授 兼 副院長、陣崎 雅弘先生に「病院におけるテクノロジーの進歩」～地域医療構想を踏まえて～ ご講演いただきました。本会場（セントラルホテル）には、医師会の先生方・地域の各病院幹部・神奈川県各市町村の幹部市議会議員の方など34名ほど、WEBにて70名を超える方が視聴されました。



慶應義塾大学医学部放射線科学（診断）教授  
慶應義塾大学病院 副院長  
陣崎 雅弘 先生



三浦半島病院会  
会長  
長堀 薫 会長



神奈川県健康医療局  
山田 健司 局長



横須賀市医師会  
三屋 公紀 会長

### 1. 開催挨拶

三浦半島病院会 会長 長堀 薫

### 2. 来賓代表挨拶

神奈川県健康医療局 局長 山田 健司  
横須賀市医師会 会長 三屋 公紀

### 3. 来賓紹介

### 4. 地域医療構想

#### みうら半島の明日を考える Part8

#### 病院におけるテクノロジーの進歩 ～地域医療構想を踏まえて～

- 座長 - 三浦半島病院会 会長 長堀 薫

- 講師 - 慶應義塾大学医学部放射線科学（診断）教授  
慶應義塾大学病院 副院長  
陣崎 雅弘 先生

### 5. 閉会挨拶

神奈川県病院協会 会長 吉田 勝明



神奈川県病院協会  
吉田 勝明 会長



# 診療科部長

第21弾

歯科口腔外科  
拡大版

に聞く

## 「常に患者さんファーストの 歯科医療を実践します」

歯科口腔外科 部長  
李 宇錫

### 歯科口腔外科のウリと 地域の先生方へのメッセージ

2004 年から横須賀共済病院 歯科から歯科口腔外科へと標榜名、診療内容を変更し、18 年が経過しました。現在、常勤歯科医師 2 名、非常勤歯科医師 3 名で診療にあたっています。

高齢化が進む現代社会において患者さんの有病率は増加し手術等の侵襲的歯科治療、すなわち口腔外科的治療を行う際のリスクは高まっています。当院は総合病院の特徴である各診療科間の連携を活かし安全を担保した上で質の高い診療を行っております。また、2022 年 4 月から神奈川歯科大学口腔外科から非常勤歯科医師を派遣していただき、さらに診療の質を向上させるべく連携を深めています。

当科では口腔外科疾患全般に対応していますが最近、特に注力しているのが歯科インプラント治療における骨造成です。インプラントを埋入する際に顎骨の高さ、幅が不足する場合に骨造成術が適応されますが従来から現在までゴールドスタンダードは自家骨移植であることに異論の余地はありません。しかしながら自家骨移植は移植骨採取の侵襲が大きいため当科では低侵襲術式であるソーセージテクニックを積極的に適応しています。ざっくりと説明すると骨量が不足している既存骨にテンティングスクリュー（支柱となるチタンスクリュー）を数本植立させ骨補填材（ウシ由来

凍結乾燥骨、β-TCP、ハイドロキシアパタイト、コラーゲン等）をやや過剰に支柱周囲に積み上げて骨補填材が崩落しないようにメンブレンで被覆しタックピンで固定するとあたかもソーセージのように見えることから術式名の由来となっております。

インプラント治療で骨造成を検討なさっている先生方は是非、当科にご紹介していただければと思います。

### 最近のプライベートの楽しみを教えてください。

下手の横好きでゴルフにはまっています。YMG（横須賀医師会ゴルフ）、整形外科医会の先生方にいつもお誘いいただいております、この場を借りて御礼を申し上げます。

腕前の方は中々進歩せず難しさを痛感していますが先日、YMG の幹事長の先生に「勤務医は仕事をしていないと思われるからゴルフは上手くなってはダメなんだよ」と金言をいただきましたので肝に銘じて仕事がつつり、ほどほどにゴルフを頑張っていきます。

### Profile

#### 出身校

神奈川歯科大学歯学部歯学科  
平成 4 年（1992 年）卒  
神奈川歯科大学大学院  
平成 8 年（1996 年）修了

#### 専門領域

口腔外科全般  
歯科インプラント治療における骨造成

#### 所属学会

日本口腔外科学会、日本骨代謝学会  
日本顎顔面インプラント学会

## 歯科口腔外科



医長 大見 寧

#### 専門領域

口腔外科疾患一般

#### 経歴

神奈川歯科大学 歯学部  
平成 7 年（1995 年）卒  
神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 口腔外科学  
平成 11 年（1999 年）修了

### 地域の医療機関へのメッセージ

日頃より多くの患者さんを御紹介いただきまして誠にありがとうございます。

患者さんを通じて多くのことを学ばせていただいております、患者さんにはわかりやすい説明と処置、先生方への報告を心がけております。至らない点多々あるかとは思いますが、先生方とともに横須賀三浦地域の医療の向上に貢献できるよう精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 歯科口腔外科 衛生士インタビュー

主任  
輪島 真由美

日頃より多くの患者さんのご紹介ありがとうございます。

患者さんやご家族の不安な気持ちに寄り添い、安心して治療が受けられるようにスタッフ一同連携し、安全な医療を提供して地域の方々に信頼されるよう努めてまいります。

これからもよろしくお願い致します。

出井 茜

入職当初は2名だった歯科衛生士が、今では4名に増員され業務範囲も広がり、今まで以上に行き届いた専門的口腔ケアの提供ができるようになりました。

何かお困りのことがありましたら気軽に声をかけて下さい。

須山 遥

日頃よりお世話になっております。

私の主な業務は入院中の患者さんの口腔ケアです。退院後はかかりつけの歯科医院の皆様にご協力いただきまして定期的に検診等で診ていただけたら幸いです。

今後ともよろしくお願いします。

遠田 弥生

共済病院で働くようになり一年半が経ちました。

日々の業務をこなす中、地域医療での歯科診療の重要性を実感しております。

これからも地域医療と総合病院との協力のもと、患者さんのより良い笑顔が見られるように努力していきたいと思っております。





# News

米国ロマリダ大学

第17回

## 喉頭亜全摘出術講習会

に招かれて 2022.10.21 米国ロサンゼルス

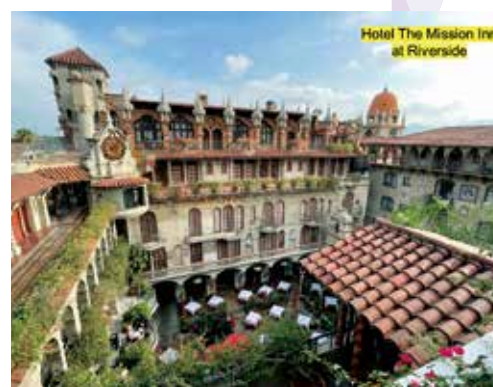
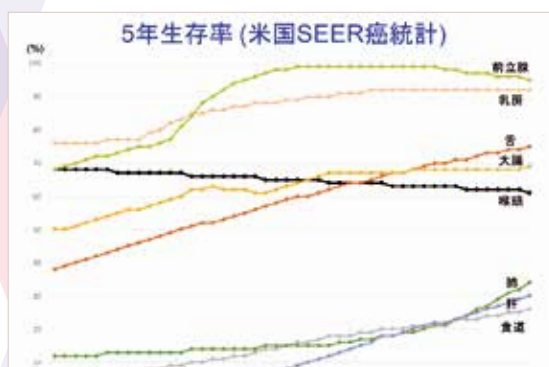


耳鼻咽喉科 部長  
中山 明仁

喉頭癌は頭頸部の中でも甲状腺癌に次いで頻度が高い癌で、発声等の機能温存が治療の要です。米国のSEER癌統計(国民の1/3を代表)では、全癌の中で唯一生存率が低下しています。過去30年間、進行喉頭癌に化学放射線療法を過剰適用したため、局所再発と遅発性誤嚥性肺炎が多発していることが原因とされ、進行癌でも声を残せる「喉頭亜全摘出術」が改めて見直されています。

ロサンゼルスにあるロマリダ大学は、亜全摘を全米の若手医師に教育する講習会を毎年10月に行っており、世界から経験豊富な講師が招聘されます。朝7時から4名の講師(スタンフォード大・オレゴン大・ロマリダ大・横須賀共済)による講義が始まり、午後は剖検体を用いた4時間の実技講習が続く長い一日になります。全米の若手医師たちは熱心で、多くの質問をし、時間ぎりぎりまで真摯に学んで帰ります。講師たちは、ニクソン大統領が結婚式を挙げた名門ホテルThe Mission Innに宿泊し、パティオ等で開かれる前夜祭・慰労会を通して関係者と懇親を深めます。

唯一の生存率低下という不名誉な喉頭癌治療の現状と決別するため、米国の耳鼻咽喉科・頭頸部外科医たちの努力は続きます。



# News

ANA

2022

## ウィンドサーフィン ワールドカップ

横須賀・三浦大会 2022.11.11 Fri - 11.15 Tue  
医療支援活動報告

～ウィンドサーフィン・ワールドカップに  
「参加」しました!～

形成外科 部長 北村 理絵子

3年ぶりにANAウィンドサーフィン ワールドカップ 横須賀・三浦大会が行なわれました。以前までは春から初夏の開催で、何故か期間中だけ風が吹かず選手からは「日本の運営や環境は最高。あとは風のコンディションだけ」と言われ、残念な思いをしていました。今回は秋開催となり、どうなる事かと思っていたのですが、無事に吹いてくれました!ルール変更で比較的微風でも走行可能なフォイルが選択可能となった事もあり、海上では連日熱いレースが行なわれました。

当院では以前から現地での医療支援を行なっています。今回も横須賀市からの要請を受けて救急科と形成外科で支援を行ないました。前回までは熱中症が危惧されていましたが、今回は予想が難しい気候となりました。大会期間の前半はTシャツで十分なくらいの暖かさで、後半はコートを着ていても寒い程の気温でした。この中で体調管理する選手は大変でしょう。傷病者は軽症5名、救急搬送1名でした。内訳では大会スタッフ2名、選手が3名、一般客の歩行困難1名でした。

当院の医療支援が少し知られる様になり、現地で何人かの開業の先生からお声かけ頂きました。ありがとうございました。これからも大会の成功を祈り支援を継続して行きますのでよろしくお願いします。





# 医療従事者研修会

## 第4回 研修会の開催報告

2022年12月8日 認定看護師・管理栄養士による、医療従事者研修会をWEB形式で開催しました。  
多くの多職種の方に、ご視聴していただきました。

### 第1部 「食事介助で困っていませんか？」

～むせる・やせるは誤嚥障害？低栄養？ お悩み解決しませんか～



摂食・嚥下障害看護  
認定看護師  
野口 美紀

地域の皆様には、平素より大変お世話になっております。

今回、『食事介助で困っていませんか？～むせる・やせるは嚥下障害？低栄養？お悩みを解決しませんか～』について当院の管理栄養士 野間友紀さんと一緒にお話させていただきました。

私からは、機能的嚥下障害と認知症の方の嚥下障害についてでしたが、地域からの参加もあり、心より感謝申し上げます。また、少しでも皆様のお役に立つような内容であつたら大変嬉しく思います。

まずは、“口”や“のど”の寝たきりを作らないことが重要であり、地域の方や多職種のアセスメントが予防の一助となります。

1人ひとりの生活に寄り添い、口から食べる楽しみを一緒に考えられるようにしていきたいと思います。

地域の皆様には平素より大変お世話になっております。

今回、摂食・嚥下障害看護認定看護師 野口美紀師長と共に、私たちが普段当たり前のように行っている“食べる”という行為が、難しくなる疾患や機能低下に対する食支援について、お話をさせていただきました。食べにくさを感じやすい食品を知り、食べやすく工夫することは、食べる楽しさや低栄養予防に繋がると考えます。

また、栄養アップレシピ、地域の宅配食、訪問栄養指導について、横須賀地区栄養士連絡協議会作成“横須賀地区嚥下調整食分類早見集 資料集”を用いお話をさせていただきました。QRコードからダウンロードもできますのでご活用いただければ幸いです。

この度は多職種の先生方にご参加いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。



管理栄養士・  
NST 専門療法士  
野間 友紀 主任

### 第2部 「認知症看護・介護のお困り事 ～対応方法を考える～」



認知症看護認定看護師  
柴田 忍

地域の皆様には、平素より大変お世話になっております。お忙しい中、多くの方に参加して頂き心より感謝申し上げます。さて、私からは「認知症看護・介護のお困り事～対応方法を考える～」についてお話をさせていただきました。コロナウイルス感染症が流行り、認知症の人を取り巻く環境が大きく変わりました。今まで在宅サービスを利用し、安心して生活出来ていたのに頼みの綱のサービスが利用出来ない。また、ご家族も体も気持ちも休まる時間がない。という状況の中、認知症の人とご家族がコロナ禍でも安心して生活できるようにお役に立つことがありましたら嬉しいです。

2022年度

三浦半島地域

# 緩和ケア研修会

2022年11月13日当院講堂において、三浦半島地域緩和ケア研修会を開催致しました。

この度、2022年度三浦半島地域緩和ケア研修会を当院で開催し、院内、院外から研修医、病院勤務医、往診医、歯科医師、看護師、臨床心理士などバラエティーに富んだ総勢28名での研修会でした。

研修会のファシリテーターには院内の医師、看護師の他に、神奈川県立がんセンター、千葉西総合病院、横浜市立市民病院、衣笠病院、みらい在宅クリニックなどから緩和ケアの経験豊かな先生方にご協力いただきました。受講参加者の皆様の熱気あふれるロールプレイや事例検討に、緩和ケアをより身近なものに感じながらこれからの臨床経験に生かしていただくことができるのではと期待が膨らみました。

緩和ケア研修会も会を重ねる毎に受講参加者が研修医主体に変わりつつあります。事例検討を実際の臨床に則して行えるように、薬剤や地域連携について事前のe-learningだけではなく勉強会を開催するなどして知識を深める場を設けてグループワークで意見が出しやすくなるように、研修会が参加してくださった皆様の毎日に役立てられるように工夫させていただきたいと思いました。



緩和ケア内科 医長  
森田 真理





# がん教育

中学生・高校生の皆さんへ、がんに関する正しい知識と、がんそのものやがん患者に対する理解を深める学習を進めるため、がん教育を行いました。

## ～中学生に対するがん教育～

横須賀市立長井中学校 2022年10月18日



横須賀市立長井中学校  
加藤 将 教諭  
よりコメントをいただきました！

「がんはよく聞くものだけど、実際どのようなものとか、予防まで考えることはなかったので、お医者さんから話を聴いて、がんを身近なものと感じることができたし、これから健康な身体を作っていくためにどのように生活していくかを考えるきっかけになった。」

これはある生徒の感想ですが、多くの生徒が今回の授業を受けたことで、がんについての知識を身につけ、がん予防に対する意識が高まったと感じています。



## ～高校生に対するがん教育～

神奈川県立横須賀南高等学校 福祉科 2022年11月29日

がんという疾患は、様々な場面で取り上げられることも多く、なんとなく知っているつもりになっていた。二人に一人ががんになる。死亡順位1位など、知っているのは怖いことばかり。早期発見であれば9割が治っていると、良いことはほとんど知らなかった。

今回の授業で、生徒も私も、正しい知識の重要性を学び、疾患を理解したうえで前向きに病気と向き合う大切さを学びました。



神奈川県立  
横須賀南高等学校  
福祉科  
田中 幸子 教諭  
よりコメントをいただきました！



# がん診療の取り組み

2020年のがん登録、県内拠点病院20施設中  
横須賀共済病院は7番目の登録数です。

【上位6施設(大学病院)】

## 院内がん登録について(2020年)

登録件数 2482件

\*男女の内訳は、男性が1394件、女性が1088件。

### がんの発生部位別登録数(男性)

肺がんが最も多く、次いで、前立腺がん、結腸がん、胃がん、膀胱がん、の順に多い。

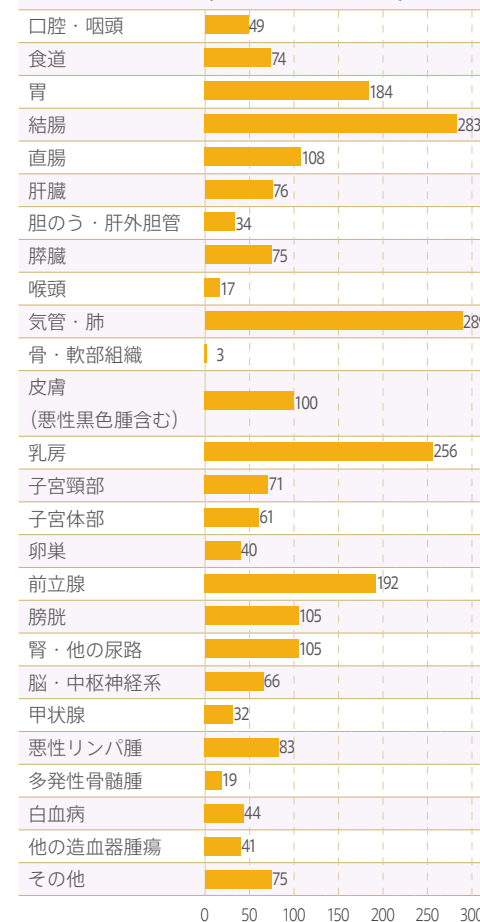
### がんの発生部位別登録数(女性)

乳がんが最も多く、次いで、結腸がん、肺がん、子宮頸がん、子宮体がんの順に多い。

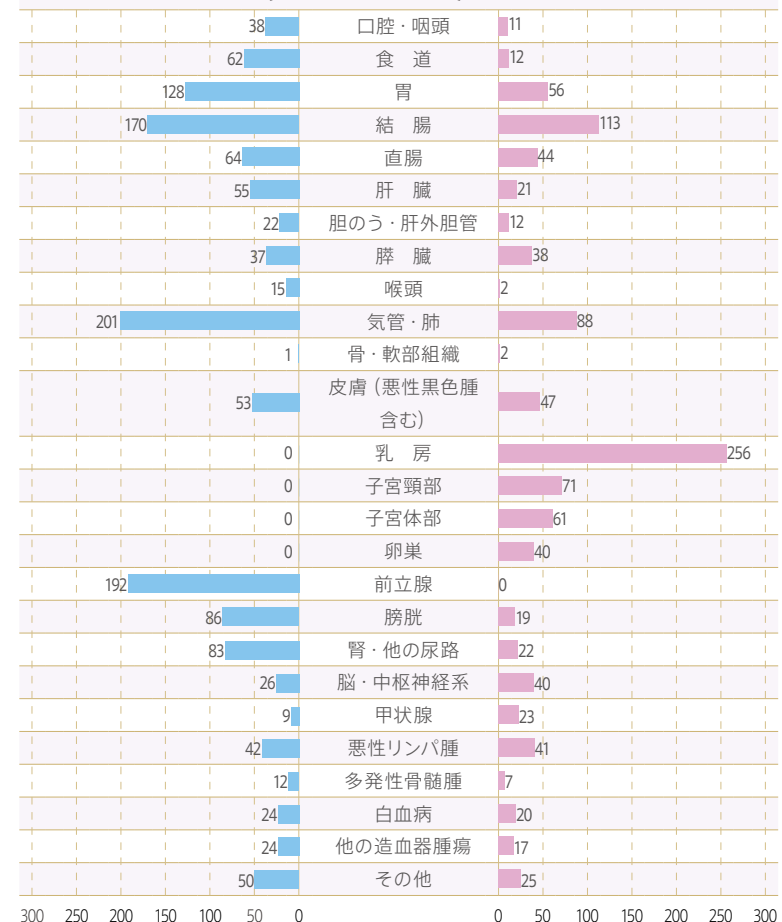
### がんの発生部位別登録数

年間の院内がん登録を部位別に見ますと、肺がんが最も多く、次いで結腸がん、乳がん、前立腺がん、胃がんの順に多い

#### 部位別 登録数(上皮内癌を含む)



#### 部位別・性別 登録数(上皮内癌を含む)



### 院内がん登録実務認定者

横須賀共済病院には、院内がん登録実務初級者認定者1名、院内がん登録実務中級者認定者2名在籍しており、今度とも、がん診療の取り組みをサポートしていきます。



院内がん登録実務中級者認定者  
佐久間 奈美



院内がん登録実務中級者認定者  
穴倉 夏帆



院内がん登録実務初級者認定者  
栗林 円

## あゆみ保育園 ニュース

### クリスマス会が開かれました♪♪♪

保育園内では色々な飾りをして、  
子供たちは笑顔の  
時間を過ごしました。



MERRY CHRISTMAS

## 退職者 2022年12月31日付

■ 外 科 … 紫葉 裕介

## 理 念

よかった。  
この病院で

患者さん・家族・職員  
すべての人が安心できる  
病院をめざします

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

酷寒の日々が続き、温かいものが恋しい季節となりました。

私は毎年、春の7つの草を入れた七草粥を食べています。

七草粥を食べる1月7日は、季節の節目のひとつ“人日の節句”と呼ばれ、人を大切にする日とされています。

また、七草は早春にいち早く芽吹くことから、七草粥には一年間の無病息災の願いが込められています。

七草の強い生命力のように、逆境にも負けず活気溢れる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

本年も横須賀共済病院とれんけいだよりを、よろしくお願いいたします。

地域連携室 宮坂・加藤

## 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16  
TEL 046-822-2710 (代表) FAX 046-825-2103 (代表)

## 地域連携センター地域連携室

TEL 046-827-1117 (直通) FAX 046-823-5020 (直通)

## YKH れんけいだより vol.76

発行日：2023年(令和5年)1月31日

編集：地域連携センター地域連携室